

本庄市の障害者福祉に関するアンケート

【ご協力をお願い】

日ごろより、市政にご協力いただきありがとうございます。

本市では、障害のある人もない人もともに安心して暮らせる地域づくりを目指して様々な障害者施策を総合的に進めてきました。現在の障害者計画・障害(児)福祉計画が、令和5年度をもって計画期間を終えることから、市では新たな計画をつくる作業を進めています。新しい計画をつくるにあたり、生活の実情やサービスの利用状況、福祉施策へのご意見などをお聞きすることといたしました。

この調査票は、市内にお住まいの方を対象にお送りしています。なお、この調査はすべて無記名で行われ、統計的に処理されますことから、回答いただいた内容は調査目的以外に使用することはありません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年5月 本庄市長 吉田 信解

回答方法について

- 郵送でお答えの方は、記入が終わりましたら令和5年 xx 月 xx 日(xx 曜日)までに、返信用封筒(切手不要)に入れて、ご返送ください。
- この調査は Web ブラウザからの回答が可能です。
Web による回答をご希望の方は、右の二次元コードをスマートフォン・タブレットで読み込んでください。
- Web で回答される場合は、最初の設問には、識別用コードを入力してください。この識別用コードは、紙の調査票による回答との重複を判定するために使用されており、個人を特定するためのものではありません。
- Web でお答えの方は、令和5年 xx 月 xx 日(xx 曜日)までに、回答を完了してください。

二次元コード

識別用コード XuNvfe

【アンケートに関するお問い合わせ先】 本庄市 福祉部 障害福祉課

電話:0495-25-9232/ファクス:0422-47-9577

回答にあたってのお願い

- あなた(宛名の方)がご回答ください。おひとりで回答するのが難しい場合は、ご家族などのサポートを受けながら回答いただいても結構です。
- 答えたくない質問や、記入しづらい項目がありましたら、その質問を飛ばして、次の質問にお進みください。

1 回答いただく方について

問1 あなたの年齢をご回答ください。(4月1日現在、1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 29歳未満 | 3. 40～49歳 | 5. 65歳以上 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～64歳 | |

問2 あなたの性別をご回答ください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

2 障害のある人に対する理解について

問3 人々の、障害のある人に対する理解が進んでいると思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 進んでいる | 3. 進んでいない |
| 2. まだ不十分 | 4. わからない |

問4 日ごろの生活の中で障害のある人などに対する差別や偏見などを感じることがありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. いつも感じる | 3. 特に感じない |
| 2. 時々感じる | 4. わからない |

※問4-1は、問4で「1. いつも感じる」「2. 時々感じる」と回答した方にお聞きします。

問4-1 障害のある人などへの差別や偏見を感じるのは、どのような時ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 教育の場面 | 6. 公共機関・施設の窓口対応 |
| 2. 仕事や収入の面 | 7. 入店拒否など店の対応や店員の態度 |
| 3. 近所づきあい | 8. 交通機関などが配慮されていない時 |
| 4. 地域の行事や集まり | 9. その他 |
| 5. まちかどなどでの人の視線 | () |

問5 「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている 2. 知らない

障害者差別解消法とは

すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を図るための法律で、平成 25 年6月に制定されました。

障害のある人に対する不当な差別的取扱いを禁止し、合理的配慮の提供が定められています。令和3年の改正で、すべての民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されました(公布日である令和3年6月4日から起算して3年以内に施行予定)。

問6 障害のある人への理解を深めるためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1. 子どもの時から、障害や障害のある人などのことについて学習し、交流する機会を充実する | 5. 障害のある人の施設などを地域住民にも開放して交流できるようにする |
| 2. 障害のある人などが自由に外出できるようなまちづくりを進める | 6. その他 () |
| 3. 障害のある人などの就業の場を広げる | 7. わからない |
| 4. 障害のある人などの生活の実状や抱えている問題などについて市民が理解しやすいように周知する | |

問7 障害のある人などの抱えている問題について、関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. まったく関心がない |

→ ※問 7-1 は、問7で「1. 非常に関心がある」「2. ある程度関心がある」と回答した方にお聞きします。

問 7-1 どのような理由から関心がありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1. 自分の身内に障害のある人などがいるから | 6. 県や市の広報などで、障害のある人などに関することを目にするから |
| 2. ボランティア活動をしているから | |
| 3. ボランティア活動をしたい、ボランティア活動に興味があるから | 7. 自分もいつ障害をもつことになるか、わからないから |
| 4. 福祉関係の職業に従事しているから | 8. その他 () |
| 5. テレビや新聞・雑誌などで障害のある人などに関することを見たり、聞いたりしているから | 9. 特にない |

3 障害のある人などにやさしいまちづくりについて

問8 障害のある人は、外出先でどのようなことに不便に感じたり、困っていたりすると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 電車やバスの利用が困難、不便（駅やバス停を含む）
2. 駐車場が少ない（車いす利用者用の駐車スペースがないなど）
3. 歩道が狭い、障害物がある、視覚障害者用誘導ブロックが不備など、歩道に問題が多い
4. 建物に段差や階段が多い、エレベーターがない、視覚障害者用誘導ブロックがない
5. 障害者が利用しやすいトイレが少ない
6. 必要な場所に案内板や案内表示が少ない
7. その他（ ）
8. わからない・特にない

問9 障害のある人が地域の行事や活動にもっと参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 障害のある人なども使いやすい施設を整備する
2. 移動が困難な障害のある人などに配慮して、交通機関や道路を整備する
3. 障害のある人などに対する人々の理解を深めるよう、広報や福祉教育を充実する
4. 障害のある人などを支援するボランティアを育成する
5. 障害のある人自身が積極的に地域との関わりを持つようにする
6. その他（ ）
7. わからない・特にない

4 災害対策について

問10 障害のある人は、災害時にどのようなことに不安を感じると思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. ひとりでは避難できない | 6. 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい |
| 2. 避難する場所がわからない | |
| 3. 自分で助けを呼ぶことができない | 7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安 |
| 4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安 | 8. その他（ ） |
| 5. 避難所で必要な支援が受けられるか不安 | 9. わからない・特にない |

問 11 障害のある人のために災害に備えて、市はどのようなことに力を入れる必要があると思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. 障害者の避難訓練を行う | 6. 避難先での医療体制の確保 |
| 2. 災害時の心得や地震に関する知識を広める | 7. 障害者が日常生活を円滑に行うための用具の確保(聴覚障害者用ファックス、ストマ装具など) |
| 3. 災害時に避難を支援してくれる協力者の体制づくり | 8. その他
() |
| 4. 障害者に配慮した災害情報などの伝達体制の充実 | 9. わからない・特にな |
| 5. 福祉避難所(福祉施設など)の設置 | |

5 ボランティア活動について

問 12 ボランティア活動の経験はありますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 現在、ボランティア活動をしている | 3. したいが、時間がないなどでしていない |
| 2. 以前、したことがある | 4. ボランティア活動に興味がない |

※問 12-1 は、問 12 で「1. 現在、ボランティア活動をしている」「2. 以前、したことがある」と回答した方にお聞きします。

問 12-1 ボランティア活動をするのは、どのような気持ちからですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 地域や社会をよりよくしたい | 6. 新しい出会いをしたい |
| 2. 困っている人の手助けをしたい | 7. 何か新しく感動できる体験をしたい |
| 3. 自分のやりたいことを発見したい | 8. その他
() |
| 4. 進学や就職などで有利になるようにしたい | 9. わからない・特にな |
| 5. 自分の技術や能力、経験などを活かしたい | |

問 13 地域でのボランティア活動の情報をどのように入手していますか。(〇はいくつでも)

1. 新聞・雑誌など	6. ボランティア活動の情報紙や機関紙
2. テレビ・ラジオ	7. ボランティア活動の相談窓口
3. インターネットなど	8. ボランティア活動経験者
4. 市や社会福祉協議会の広報誌など	9. その他
5. 地域の回覧板や掲示板	()
	10. 特にない

問 14 障害のある人に対して、どのようなサポートができますか。(〇はいくつでも)

1. 声かけや様子を見る	6. 身体介護の手助け
2. 話し相手	7. 市役所の用事などの代行
3. 外出時の付添いや送迎	8. 交流や社会参加の場を設ける
4. 書類などの代読や代筆、点訳、手話通訳 などのコミュニケーションの手助け	9. その他
	()
5. 家事や買い物の手伝い	10. 特にない

問 15 市が、障害のある人を支援するためのボランティア活動を支援する上で必要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 希望者向けにボランティア講習会を開催する	7. 活動中の事故への保障や保険などを充実する
2. 活動の相談をしやすいとする	8. ボランティア希望者の登録制度を実施する
3. 活動の情報を提供する	9. 活動のリーダー育成に対する援助をする
4. ボランティアグループへの経済的援助をする	10. その他
	()
5. 活動の教育を広める	11. 市は直接に関わらない方がよい
6. 活動する場所を確保しやすいとする	12. わからない・特にない

問 16 障害のある人もない人もともに住みやすいまちをつくるための施策について、必要なことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 障害のある人などへの理解を進めるための福祉教育や広報活動の充実
2. 自宅での生活を支援する在宅サービスの充実
3. 高齢者、障害のある人・児童の施設サービスの充実
4. 健康診断や健康教育などの保健・医療サービスの充実
5. 生活や財産・権利を守ってくれるサービス（成年後見制度や虐待を防ぐ取り組みなど）の充実
6. 介護を必要とする重い障害のある人ための入所施設の整備
7. リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備
8. 誰もが参加しやすいスポーツ・余暇活動の援助や施設の整備
9. 住民同士がふれあう機会や場の確保
10. 就労支援の充実・働く場の確保
11. 道路の段差解消など、移動円滑化（バリアフリー化）の推進
12. 交通の利便性の確保
13. 災害時の避難誘導体制の整備・充実
14. 保健・福祉の専門的な人材の育成と資質の向上
15. 障害福祉サービスの利用手続きの簡素化
16. 相談窓口や情報提供の充実
17. ボランティアの育成やボランティア組織のネットワーク化
18. その他（ ）
19. 特にない

問 17 市へのご意見、ご要望を自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました